

- 1 日時 平成 年2月27日(水)第5時 5年1組教室
- 2 単元名 『メールの使い方を考えよう』(2時間目/全2時間扱い)
- 3 本時の目標  
電子媒体による誹謗中傷・いじめの被害の深さを理解し、手紙や落書きとの違いを比べることを通して、仲間を守り、自分を守るために電子媒体の上手な使い方について認識する。
- 4 本時の展開

学習の流れと予想される子どものあらわれ	留意点
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">同じ「バカ」「死ね」という言葉でも面と向かっている場合と紙や落書きの場合との違いを考えよう。</p> <p>(1) 友だちと「バカ」「死ね」と言い合ったことがありますか？</p> <p>(2) もし「バカ」「死ね」と書きたいはずら書きもらったらどう感じますか？</p> <p>(3) 同じ言葉なのに、感じ方がどうして違うのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いたずら書きは相手が誰かわからない。</li> <li>・直接言われたときは、表情がわかる、冗談だとわかる。</li> </ul> <p>シゲオくんのケースを見てみよう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">メールが手紙や落書きと違うところはどこだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にしか見えない。回りの他の人には見えないし聞こえない</li> <li>・一度出された情報は取り消せず、情報が一人歩きしてしまう。(好きな人、テストの点、家族のことなどが一人歩きしてしまう。)</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">この場合、どのときに問題があったのだろう？</p> <p>a. ケータイを持つこと                      b. ケータイで写真を撮ること</p> <p>c. 転んだ写真を発信すること            d. 嫌なメールを送ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ b 「決定的瞬間」(転んだところ)を写真を撮ったから。</li> <li>・ c 「おもしろいから」と言って写真を送っているから。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">私たちが気をつけなくてはいけないことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の嫌がることはやめよう。    ・知らない人にはついて行かない。</li> <li>・困ったときにはすぐに信頼できる大人に相談しよう</li> <li>・メールの使い方は気をつけなくてはいけないのだな。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">人が嫌がることはやめよう。自分が嫌なことは人にもしないようにしよう。</p>	<p>いたずら書きをされた経験がある子に話をしてもらおう</p> <p>事例をマンガで提示し、いたずら書きの場合との違いを考えさせる。</p> <p>道具を使うこと(写真を撮る、メールを送る)自体が悪いのではなく、それを使う人の動機が問題であることを押さえる。</p> <p>学校の日常生活と同じであることに気づかせる。</p>